

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

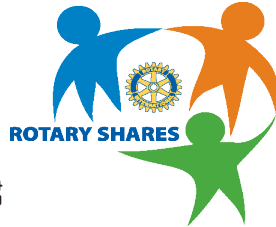
例会:毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org



【ディアスシア・リトルダンサー】

会長:村松 英昭 副会長:青島 克郎 幹事:青島 彰 副幹事:仲田 廣志

第1761回



<ソング> 四つのテスト

<ソングリーダー> 杉浦 良一君

2007-2008年度 RIテーマ
ロータリーは
分かちあいの心
ウィルアリッドJ.ウィルキンソン

会長報告 村松 英昭君

先日の20日の日曜日、良いお天気に誘われて、蓮華寺池にブラブラと出掛けました。

池の水はぬるみ、鯉が水辺近くまで寄ってきていました。池の周りの八重桜がきれいに咲き満開の状態でした。

また、藤棚では藤が咲き始め綺麗な藤色を呈していました。(このぶんだと連休の頃には、散りはじめるのではないのでしょうか)

池の周りを散歩する人々の目を楽しませてくれます。是非出掛けてみて下さい。

ただ、不思議な思いがしたのは池を一周してみました。子供達のにぎやかな声が聞こえませんでした。行き交う人々を見ますと、皆、おじいさん、おばあさんの元気な老人の集団でした。やはり、子供達のカーカー言う賑やかな声がしないのは、寂しいものだなと感じました。

蓮華寺池公園においても少子高齢化が影をおとしているのだと改めて思いました。

幹事報告 青島 彰君

● 道部地区ガバナーより冠講座講演の礼状が届いています。

- 元会員桑原信之さん会葬礼状が届いています。
- 次年度インターアクト委員長会議開催案内が届いています。大塚委員長予定者は出席して下さい。

平成20年5月11日(日)ホテルアソシア静岡

- 次年度新世代委員長会議開催案内が届いていません。大塚委員長予定者は出席して下さい。

平成20年5月25日(日)

ホテルセンチュリー静岡

- 地区ガバナーより青少年交換事業実施クラブ募集案内が届いています。

- 第43回藤枝市サッカーリーグ戦開会式の案内が届いています。

平成20年4月29日(祝)午前8時30分

藤枝総合運動公園サッカー場

- 藤枝市緑をすすめる会より「花と緑のまちづくりキャンペーン」開催の案内が届いています。

平成20年5月4日 午前10時

蓮華寺池公園滝の広場

- 瀬戸川フォーラム事務局より瀬戸川フォーラム10周年記念シンポの案内が届いています。

- 藤枝市市民吹奏楽団第28回定期演奏会の案内が届いています。

チケット10枚ありますので希望者は事務局まで申し込んでください。

- 4月30日例会は早朝例会となります。次年度理事役員の方は出席をお願いします。白帽子着用

- 例会後理事会を開催しますので理事役員は出席をお願いします。

冠講座を担当される会員に

静岡産業大学より委嘱状をいただきました





出席報告

鈴木 廣利君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
25 / 39 64.10%	26 / 38 68.42%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

北村君 酒向君 杉山君 松葉義君
 飯塚君 板倉君 鈴木舜君 鈴木晶君 仲田晃君
 水野君 村松徳君 村松宏君 望月晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

水野 義猛君(藤枝南) 松葉 隆夫君(藤枝南)
 村松 宏一君(藤枝南) 池ノ谷 敏正君(藤枝南)
 松葉 義之君(藤枝南)

ビジター

殿村 元二郎君(藤枝南)

スマイルBOX 山田 昭雄君

・夫人誕生日プレゼント有難うございました。

森下 敏顯君

スマイル累計額 489,000円

地区協議会報告

会長部会

次年度会長

青島 克郎君



地区協議会本会議及びガバナー補佐会長部会報告

4月20日開催の地区協議会には各委員長さんには大切な日曜日の1日を費やしてのご参加有り難うございました。

J R 藤枝駅に集合し静岡からタクシーで会場のツインメッセ静岡に向かいました。10時30分からの本会議では、点鐘から始まり次々と関係各位のご挨拶がありました。本会議での道部ガバナーと牧田時期ガバナーのお話は3月23日開催されたPETSの時とほぼ同じ内容でした。

R Iのテーマは「Make Dreams Real 夢をかたちに」です。

6年間継続しているR Iの強調事項は従来に継続し保健と飢餓追放、水資源、識字率向上とこどもたちの生活を良くするためのプロジェクト(水系感染による子供が毎日6,000人死亡している)とポリオ撲滅です。

詳細については既に3月26日の例会で説明させていただいておりますので本日はその後変更になった部分と後日報告すると申し上げた事柄のみをご報告させていただきます。

まず、会員分担金についてはR I人頭分担金が1名当たり48ドル(毎年1ドルずつ増額)、規定審議会年次賦課金が1名当たり1ドル、地区資金負担金が1名当たり18,600円となっております。

次に地区目標をお知らせいたします。

会員増強については各クラブ純増1名としこれを死守して欲しいとのことです。

ロータリー財団寄付は1名当たり100ドル、ベネファクターは各クラブ1名以上、米山記念奨学会事業寄付は1名当たり12,000円、地区活性化援助金(米山記念館、青少年交換、ITシステム推進化)が1名当たり2,500円となっております。ここまでは前年度と同じ内容になっています。

本年度から3年間の寄付としてポリオ撲滅資金へ1名1年当たり23ドルが新たに要請されました。GSEについては相手地区は第6110地区(アメリカ:ミズリー、オクラホマ、カンザス、アーカンソーの各州)で派遣は9/20~10/17の予定です

が日程については先方の行事の関係で変更になるかも知れません。また、受け入れは11/1～11/30の予定となっています。

地区予算については前回PETS報告のとおり会員数減少の調整により減額予算となっています。また、CLPについて従来の委員会編成にとらわれることなく進めて欲しい、そして少なくとも3年単位の継続性を考慮して計画して欲しいとのことでした。

幹事部会

次年度幹事

仲田 廣志君



次年度幹事を務めさせていただきます仲田です。4月20日に行われました地区協議会の報告をさせていただきます。藤枝ロータリークラブからは総勢9名参加してまいりました。会場は静岡のツインメッセでした。午前中は全体会議が行われました。内容的には、PETSでのお話とほとんど同じ内容でした。先般青島次年度会長がご報告された通りでございます。

午後に入りましてから、部会に分かれての会議となりました。私はクラブ広報リーダーの柳原さんと二人で幹事部会と広報、IT部会との合同部会へ参加いたしました。

広報、IT部会のお話は、IT導入をより積極的に進めていく予定であるとの事でした。現在当2620地区においては80%のクラブがIT化しているが、20%のクラブはまだしていないとの事。けれども次年度に100%IT化を図るべく支援をしていきたいとの事でした。

IT化により情報伝達のスピードアップ、正確な情報の伝達、様式の統一化による効率アップ配布印刷物のIT化による経費節減、IT化による過去のデータの活用、そのような事を進めていきたいとの事でした。

広報に関しましては、対外的な活動をしていき

いとの事でした。私達会員が思っている程、一般市民にロータリークラブの事は知られておらず約30%程度の人には認知されていないのが現状との事でした。

地域の人にロータリークラブの存在と活動を理解してもらい、ロータリークラブはこんな事をやっていると言った啓蒙活動を通して一般の人に知ってもらう事が大切であるとの事から、次年度は、コミュニティエフエム放送局（静岡、山梨で10局）を利用してロータリーのPRをする計画をしたとの事です。

120秒の番組を作り、期間を定めて1ヶ月間1日2回計90回放送する予定とのお話でした。

幹事部会のお話の内容は、幹事は、クラブの要であることを十分に自覚して職務に努める様にとの事でした。クラブの活動の盛衰は、幹事の仕事ぶり如何で決まるとのお話をいただき、大きなプレッシャーをいただいてまいりました。

力不足の私ではありますが、会員の皆様、そして事務局の柴さんのお力添えをいただきまして、次年度1年、青島会長のもとで、精一杯努力するつもりでございます。是非、皆さんの御協力、御支援を改めてお願いしまして、御報告とさせていただきます。

会員増強部会

会員増強委員長

後藤 功君



地区協議会 会員増強部会 分科会午後12時50分より1時間半開催

アドバイザー 渡辺守人（甲府南）

リーダー 宮川次期増強委員長（静岡東）

サブリーダー 長谷川増強委員（静岡北）

宮川委員長より次年度の牧田ガバナーエレクトの方針にふれ、会員増強が最重要課題として掲げられ、これ以上会員減少をさせるわけにはいかない、次年度は各クラブ純増1名の目標を再確認し

今日の分科会では現在の実状にそれぞれの会員の
方々にどんな思いを持っているか言いつばなし、
聴きつばなしで良いんで率直に意見交換をして
もらおうという事で会議が進められました。

まず会員減少する理由は何が原因なのか、とい
うことで意見が求められ出席会員から「いろい
ろな団体があり、そうした会員数も減少している
ことは承知はしているが減少理由はロータリーの魅
力の喪失に他ならない、決して景気の悪さではな
い」と、また「機会があったらやめたいと思っ
ているのが会員の3分の1いる」とか、「質より量
を求めた結果ではないか」あるいは、「会長経験者
がまとめてやめられる」、「沖縄のクラブへ訪問
した時、友人を大切に作る心、もてなしが違う」
などいろいろな意見がでました。

アドバイザーの渡辺さんは簡単な理由で減少し
ているわけではない、ステータスが軽くなって減
っているわけでもない。世界的には増えている。発
展途上国は確実に増えている。韓国では急激に増
えている。日本の創立当時、エリート中のエリー
トの人達が職業奉仕を中心に捉えていたが、社会
奉仕に軸が移って来たようにも思う。アイサーブ
からウイサーブに変わってきているのではないか
と、アメリカでは世界恐慌の中、寂しさの中、草
の根の中から生まれた、そうした状況が例会のあ
り方、等々にも違いがみえるのではないかと、し
かし社会の王道からははずれてはいないと・・・
宮川委員長は、ここ5年ほどで、全国で92%、
静岡、山梨では89%の会員の減少率であると、
いずれにしても「数は力なり」とであると・・・
当日はそれぞれのクラブへの思いについてアンケ
ートが採られました。

まあまあ満足している

不満である

後は参加者のロータリー歴が書き込まれました
結果、参加者79名

満足している 48名

不満である 23名

どちらでもない 7名

無回答

1名

委員長は不満が過半数を超えると読んでいたよう
です。以上報告とします。

奉仕プロジェクト部会
職業奉仕担当リーダー
春原良則君



【報告内容】

来年度奉仕プロジ

ェクト委員会の酒向委員長と春原の2名で奉仕
プロジェクト部会の分科会へ出席いたしました。
分科会では「職業奉仕委員会」、「社会奉仕委員
会」、「国際奉仕委員会」の3委員会の委員長よ
り事業計画説明と意見交換会が行われました。

1. 職業奉仕委員会

自己の職業への奉仕

「四つのテスト」の確認と職場への提示

自身の座右の銘の実施

クラブの活動

職業奉仕に関する会員卓話の実施

雇用の拡大と企業の継続への努力

職場訪問、優秀社員の表彰

分区の活動

「生活よろず相談」の開催

・「奉仕の精神」に基づき地域の皆様の相談に応
じる。

地区奉仕委員会

分区内で計画・実施した「生活よろず相談」を
職業奉仕月間に合わせ、ガバナー月信に掲載す
る。

2. 社会奉仕委員会

「富士山を世界文化遺産に！」運動に参加する。

2008年は本申請に向けて重要な年であり、
世界遺産登録に向けた国民的運動を拓げる活動
に参加する。

「地球温暖化」の研究・調査を通じて砂漠緑化
の実践と啓蒙

2008年5月16日～19日「緑の協力隊」

静岡・山梨・埼玉ロータリークラブ・ライオンズクラブによる2008年日中友好・クブチ砂漠植林サミット特別隊として有志で参加します。

3. 国際奉仕委員会

国際奉仕委員会では、世界社会奉仕委員会(WCS)と青少年交換小委員会(YEP)の二つの活動があります。

世界社会奉仕小委員会(WCS)
識字率向上、水質・保健衛生の向上、飢餓貧困からの脱却などの支援を必要としている地域に他国のクラブが手を差し伸べるプログラムです。

学校のない地域に学校の建設
教材や文房具を提供
通学用自転車の提供
識字率向上のための支援
井戸掘り等による飲料水の確保、生活環境整備

保健衛生の向上を目指すプロジェクト

青少年交換小委員会(YEP)
青少年に自国と異なる文化・価値観・歴史・伝統などを体験してもらうことにより、将来の世界を担う若者を育てる有意義なプログラムです。

【現状】

2620地区ではアメリカ、オーストラリア、メキシコ、ブラジル、ドイツ、ベルギー、オーストリアなどと交換事業を実施しています。

【課題】

近年の各クラブ会員数の減少、財政的負担、ホストファミリー選定の困難等の課題から本事業への推進は難しくなっています。

事業の持続的なあり方やその方向性として、個々のクラブのみならず各分区での協力や支援体制が必要です。

4. 意見交換会の模様

職業奉仕委員会の「生活よろず相談」の開催にあっては、自クラブだけの開催は難しいのではないかとの質問に対し、分区の連携を図って実施していただければとの回答。

現在、7クラブが「生活よろず相談」を開催し

ている。

新富士クラブから発言があり当クラブにおいては発足以来(12年間)「生活よろず相談」を実施しておりいつでもノウハウは伝承するとの事。

まずは、地域密着型の奉仕が前提ではないかとの質問に対し、国際ロータリーであることから第2620地区としてはロータリーの持つ真の奉仕事業を推進する為国際奉仕にご理解とご協力をお願いがありました。

ロータリー財団部会
ロータリー財団
委員長
杉浦 良一君



ロータリー財団寄

付：US\$100/人・年

ベネファクター：各クラブ1名以上

米山記念奨学会事業寄付：¥12,000/人・年

1. 財団委員長挨拶
2. ロータリー活動と資金について
人道的支援、教育的支援
3. 国際親善奨学金小委員会
 - ・ 国際親善奨学金の概要(種類・応募資格)
 - ・ 本年度の選考試験と次年度の募集要項
 - ・ 過去の実績
4. 補助金小委員会
 - ・ マッチング・グラントについて
 - ・ 地区補助金について
5. 研究グループ交換小委員会
 - ・ GSEの概要と歴史
 - ・ 次年度受入計画との協力をお願い
 - ・ 派遣メンバーの募集と選考について
6. 財団学友小委員会
 - ・ 山静学友会の紹介(組織・規模・活動内容等)
 - ・ [山静学友会誌]の紹介と活用について
7. 年次寄付・恒久基金小委員会

- ・ ローター財団への寄付と財団プログラム
- ・ ローターカードについて

新世代部会

新世代委員長 大塚 博巳君

2620 地区協議会 分科会「新世代部会」報告

1. 役員

新世代委員会 委員長 青野 高宏

インターアクトクラブ小委員会

委員長 鈴木 實

ローターアクトクラブ小委員会

委員長 青野 高宏

副委員長 長尾 正明

2. 現況

(1) インターアクトクラブ

クラブ数 20クラブ

1クラブ平均部員数 19名

(最大57名、最低2名)

2620 地区 (11 分区平均) 1 分区 2 クラブ

" (83RC) 4RC に 1 クラブ

高校生が行うロータリー活動のクラブ

(2) ローターアクトクラブ

クラブ数 7クラブ

1クラブ平均部員数 4名

2620 地区 (11 分区平均) 2 分区に約 1 クラブ

2620 地区 (83RC) 11RC に 1 クラブ

18歳から30歳までの青年が行うロータリー活動のクラブ。

3. 活動内容

(1) インターアクトクラブは各高校単位で活動

し担当教師が受け持ち、提唱RCは各高校と共同で例会と事業を行います。

(2) ローターアクトクラブは提唱RCが担当し、

例会運営・事業計画に共同で携わります。

4. 地区内の新世代に対する認識

(いくつかのクラブの本音)

クラブに新世代を新規で持つ余裕がない。

クラブメンバーが高齢化しており、提唱する余裕がない。

インターアクトクラブなら学校に任せられるので、できる。

大クラブの世界であって、20名以下のクラブでは関係ない世界。

地元には高校がないので無理。

面倒見てやっても、何の恩義も感じない若者は嫌だ。

何から何まで面倒をかけるので、できたら維持したくない。

提唱クラブに何の相談もなく、勝手に行動する。

その他

コスト面・・・インターアクトは低コスト、

ローターアクトは全部RCが負担の為高コスト。

5. 地区の新世代拡大への取り組み

(1) インターアクトクラブを卒業したらローターアクトクラブ(30歳まで)と呼ぶ組織がある旨説明するが高校生だけで終了する若者が殆どです。

(2) 原因は、二つのクラブの交流事業がないためお互いを知らない。

(3) 次年度は、インターアクトとローターアクトの相互事業を2回(目標)企画したい。

9/10前後に合同交流事業を開催し親睦を図る。

相互で開催する地区年次大会に出席し、事業発表報告の場とする。

(4) 一昨年ローターアクトクラブの定款を下記のとおり変更した。

:ローターアクトクラブを卒業した30歳以上の男女で、ローターアクトソングの「若さ、燃ゆるよ」の気持ちを持つ、OB・OGは、自分の所属したクラブ又は近隣のクラブへ顧問として、例会に出席し、地区の行事にも参加できる。

(5) ローターアクトクラブ・OB・OG会には

定年はありません。

70歳代、80歳代になって「若さ燃ゆるよ」の気持ちを持つ限りローターアクトクラブのOB・OG会のメンバーです。

是非、現役と共に若さを燃やしてもらいたい。

6. 藤枝RCの取り組み(案)

(1) インターアクトクラブの充実・・・藤枝順心高校との連携

(2) ローターアクトクラブの検討・・・静岡産業大学での冠講座により交流が出来ましたので、クラブ創設についての検討をしたい。

入会式

平 和則君が入会されました。



氏名：平 和則
たいら かずのり

会社名：(株) ツムラ 静岡工場

TEL：641-4011

FAX：641-0859

所在地：藤枝市築地1392

役職名：工場長

趣味：ゴルフ、テニス、音楽

【藤枝ロータリークラブ冠講座】

講演日：平成20年4月22日

講師：株式会社ロジテムツムラ

代表取締役社長 酒向謙次

企業倫理とロータリーの関わりについて

- ・ 国際ロータリー設立の背景とその運動
- ・ 藤枝ロータリーに入会して

『大変革時代』 『情報技術が流通を変える』
現代はインターネットや携帯電話など、情報通信メディアはもはや私たちの生活の中にとって、無くてはならないものとなり、いつしか消費者をわがままにしてしまいました。自宅にいなから、ネットでいつでも買物ができ、自分の都合に合わせ配達してくれるのが当たり前という便利な時代です。それは情報技術と流通という仕組みの組み合わせのおかげなのです。

生産から最終需要(消費)までに至る商品供給の一連の流れを「流通」といいますが、掘り下げて見ると供給の鎖(サプライチェーン)としてとらえ、参加する部門、企業間の情報を共有・管理することで、全体が最適化され便利社会の恩恵を受けることができます。

今、私たちの生活が、『こんなに便利に、こんなに変わった』の背景、歴史の紐をとき、流通の基礎と情報技術との関係を振り返ります。さらに『未来はこう変わる!』私たちの生活がどう変わり、どう便利になるのか、ちょっと先の未来をのぞいてみます。

便利の裏側には必ずリスクがあり、安全・安心を提供する流通を構築する為には様々な情報技術に支えられていますが、今回は期待される技術のひとつである自動認識技術に迫ります。

自動認識技術であなたの生活や流通がどう変化していくのでしょうか?

1. 情報技術が流通を変える

- ・ 現代生活の変化・・・なにが変わった

- ・ なぜそんなに便利になったか
- ・ 物流センターは情報技術の導入でここが変わった

2．コンビニで刺身販売開始

- ・ 益々便利になるコンビニも物流と情報技術の集合体

3．物流とは・・・

- ・ 流通業界の物流の基礎

4．物流の歴史

- ・ 輸送手段の歴史

5．コンビニの物流

- ・ 物流と情報技術の関係と今後

6．物流拠点の紹介（当社事例）

- ・ 拠点構築のポイント
- ・ 事例物流拠点と情報システム

7．未来はこう変わる

- ・ いつでも・どこでも・・・ユビキタスな時代
- ・ 物流システムの近未来は



(担当 / 春原)